



## 森林面積および森林蓄積

### 森林面積は県総面積の76.8%

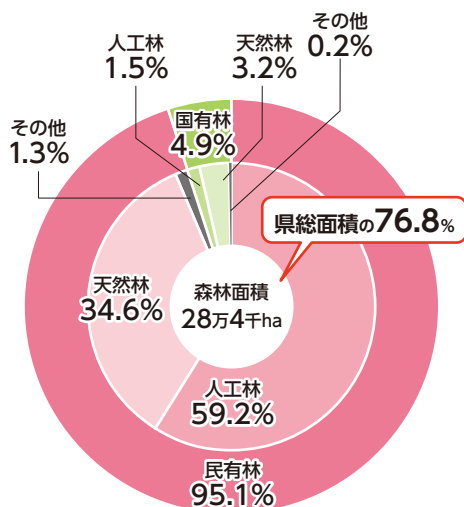
平成31年4月1日現在の県の森林面積は、28万4千haで、県総面積の76.8%を占め、その95.1%が民有林、4.9%が国有林となっています。

また、森林蓄積は、7,963万4千m<sup>3</sup>で、その96.5%を民有林が占め、3.5%が国有林となっています。

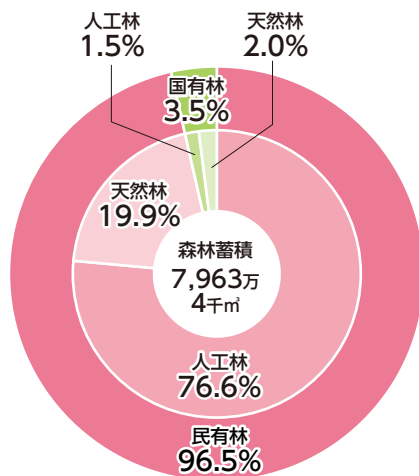
民有林と国有林を合わせた森林面積は、人工林が60.7%、天然林が37.8%を占めています。また、森林蓄積は人工林が78.2%、天然林が21.8%を占めています。

※森林蓄積…森林を構成する木の体積

森林面積 (%) (平成31年)



森林蓄積 (%) (平成31年)





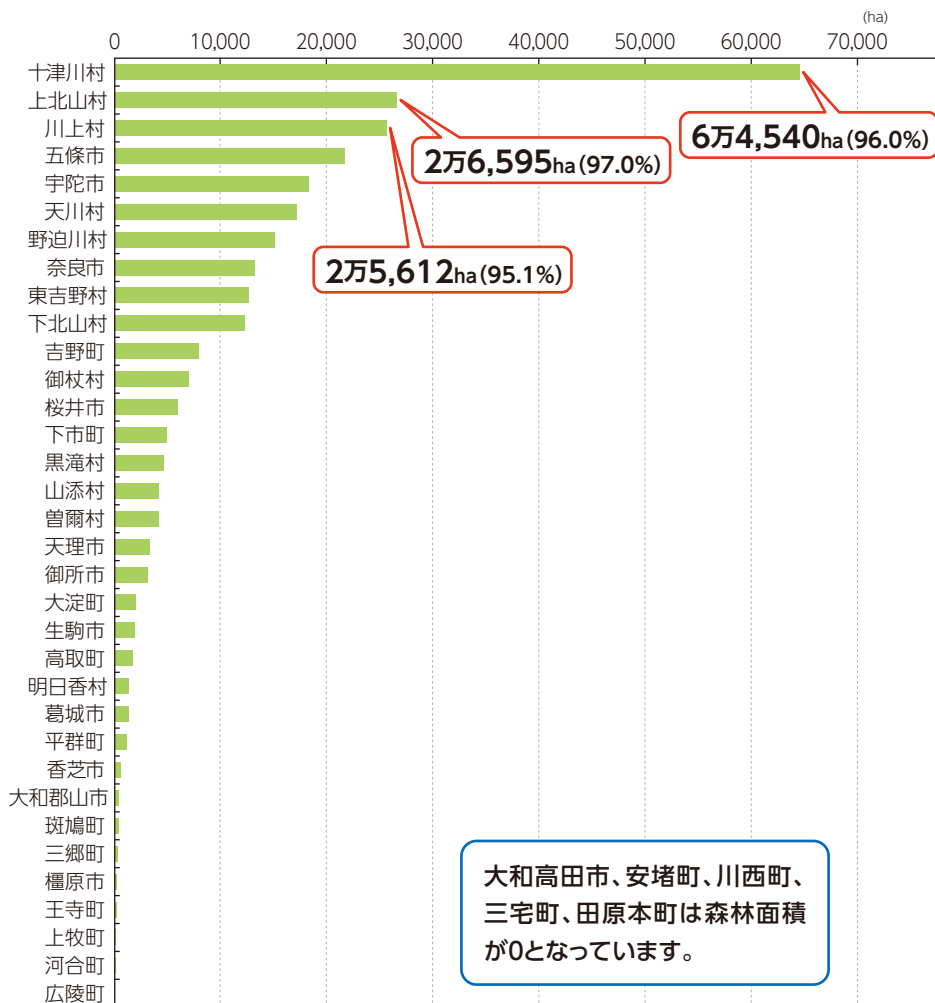
## 市町村別森林面積

## 森林面積の最大は十津川村 面積ゼロは5市町

森林面積の1位は十津川村6万4,540ha(村面積に占める割合96.0%)、2位は上北山村2万6,595ha(同97.0%)、3位は川上村2万5,612ha(同95.1%)です。

市町村別森林面積(平成31年4月1日現在)

資料:県林業振興課





## 主要部門別素材生産量

### 素材生産量は18万2千<sup>3</sup>mに減少

素材生産量は昭和37年では119万1千<sup>3</sup>mでしたが、平成29年は18万2千<sup>3</sup>mで約7分の1となっています。また全国に占める割合も2.5%から0.9%に減少しています。

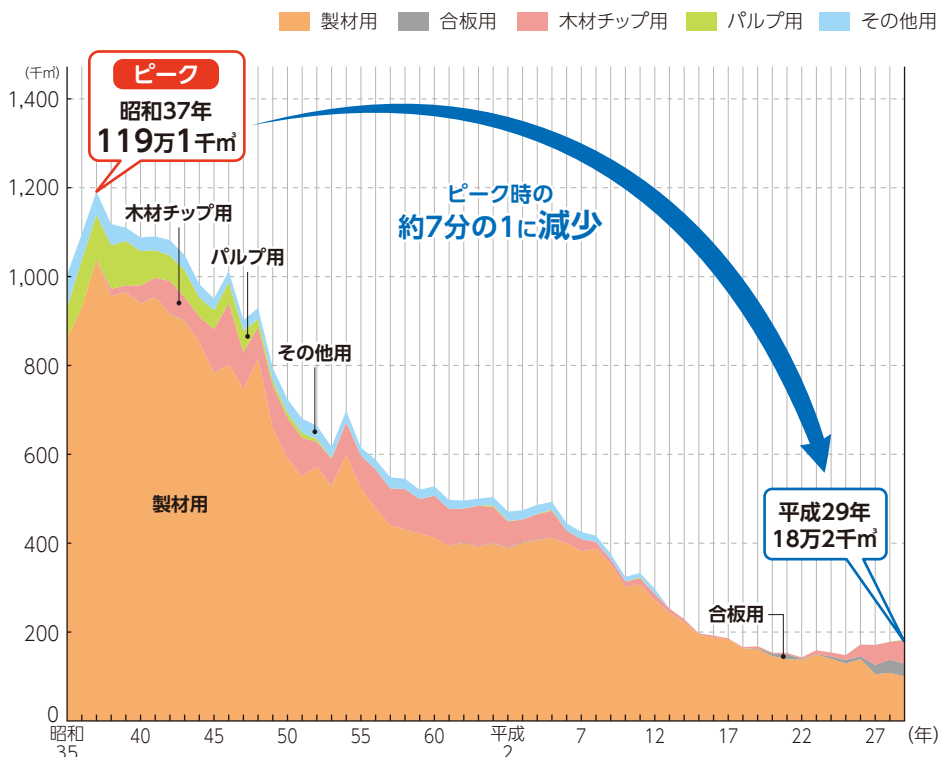
素材生産量の主なものは製材用で、平成29年では10万<sup>3</sup>mで全体の54.9%を占めています。

素材生産量を昭和37年と比較すると、製材用は103万8千<sup>3</sup>mから10万<sup>3</sup>mと減少し、90.4%の減少となっています。

- 素材…山に生えている木を切って枝を切り払ったり、同じ長さになりそろえたりして丸太にしたもの
- 製材…素材(丸太)を鋸挽きした木材製品。主に柱や板など建築に用いられる

#### 主要部門別素材生産量の推移

資料:林野庁「木材統計」、県奈良の木ブランド課



注) その他用は、電柱用、くい丸太用、足場丸太用、杭木用、繊維板用及びその他(特定部門)の合計。



## 間伐面積

### 間伐面積は、木材需要・価格の低迷の影響により低調

平成30年度における間伐面積は3,220haとなっています。

間伐面積は、建築用材の需要の減少に伴う木材価格の低迷の影響により、利用間伐が控えられ、前年度に比べ54ha増加したものの、近年は横ばいで推移しています。

●間伐…育成段階にある森林において、樹木の混み具合に応じ育成する樹木の一部を伐採(間引き)し、残存木の成長を促進する作業

#### 間伐面積の推移

資料:県林業振興課

